

カンボジア
中央カルダモン森林保全プロジェクト

現地からのお便り

2017年11月
コンサベーション・インターナショナル



Thmo Don Pov 村にある実験サイトのアガーウッドの木々 © CI/Narin, 2017

8月から10月にかけて、環境省と協力してパトロールと違法行為の取り締まりを行い、中央カルダモン国立公園の管理をサポートしました。生物多様性研究や、コミュニティの支援も行いました。

パトロールと違法行為への対応

今期は、のべ123回のパトロールを実施しました。その結果、約35立方メートル270kgの木材、11台のチェーンソー、矢を放つ木製の銃を没収し、13個のわなを撤去、282台の車両を検問しました。

州の環境局と近隣で森林保全を実施する国際 NGO のワイルドライフ・アライアンスと共に、共同パトロールの実施やレンジャーの能力向上に向けた相談を進めています。

公園の管理と作業計画のための会議を毎月行っており、中央カルダモン国立公園とコンポンスプー州（Kampon Speu）の環境局との間で、協力関係を強化するための議論も行いました。

多くのレンジャーたちが研修に参加しました。8月14日から25日までバンコクで開催された、野生生物不正取引調査についての研修に2名、8月28日から9月6日まで同じくバンコクで開催された、国境を越えた組織犯罪に関する研修に1名、9月3日から9日までマレーシアで開催された、クマの保護と管理計画の研修にマネージャーとレンジャー1名ずつ、9月上旬にカンボジアで開催された、自然保護区法、法定文書、記録手続き、ココン州、バットアンバン州、パイリン州における国家資源犯罪に関する訴訟書類の編集についての二日間の研修に8名が、参加しました。



中央カルダモン国立公園で押収されたローズウッドの木材とチェーンソー



タイで開催された、野生生物不正取引調査と国境を越えた組織犯罪に関する研修に参加したレンジャーたち



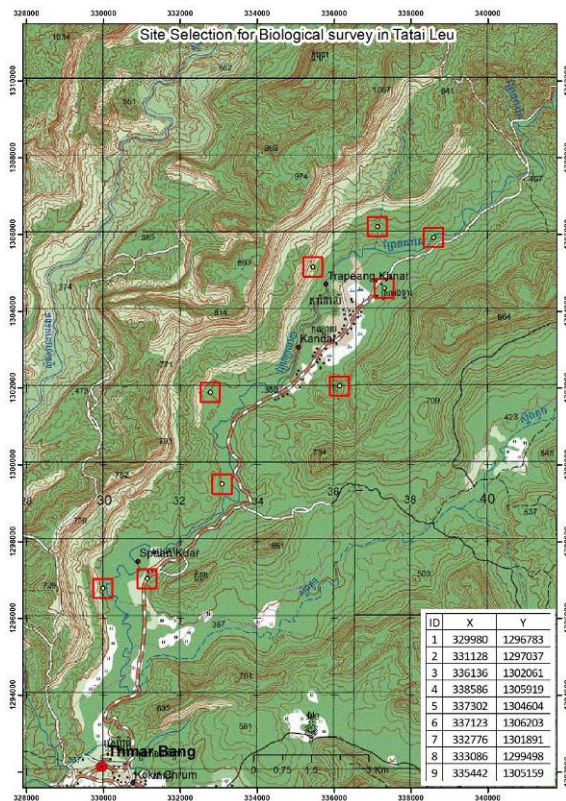
自然保護区法、法定文書、記録手続き、国家資源犯罪に関する訴訟書類の編集に関する研修に参加したレンジャーたち

生物多様性の調査

監視サイト：Tatay Leu 村の 9 箇所が監視サイトとして選ばれ、カメラトラップが設置されました。住民 3 名とレンジャー 1 名が、コンパス、GPS、カメラ、生物多様性の記録などに関する基本的な研修を受けた後、監視サイトで実地トレーニングを受けました。2017 年 11 月には監視サイトにおける基礎調査が行われる予定です。



トレーニングを受ける住民とレンジャー 監視サイトにおける基礎調査トレーニング



Tatay Lue 村内の監視サイト

コミュニティの代替生計手段

CI の保全管理プログラム（Conservation Stewardship Program : CSP）の訪問：9月25日から29日まで、CSP のアドバイザーが中央カルダモン国立公園を訪問しました。CSP は保全契約に関する CI 内の技術部門で、保全契約はアジア、アフリカ、南アメリカの三大陸で実施されています。CI カンボジアは、Tatay Leu 村において生計手段を改善することを目的にした保全契約を作成す

る 2 年間のプロジェクトを実施するため、CSP から資金支援を受けています。今回の訪問の目的は、その進捗状況について話し合うためでした。アガーウッドやレモングラスのエッセンシャルオイルを栽培するグループ作りや、グリーン・ガーデンやボディア（Bodia：アロママッサージのスパ）との関係作りは順調に進んでおり、保全契約がもうすぐ締結される予定です。

アグロフォレストリー：これまでに、レモングラスとアガーウッドの 2 つがアグロフォレストリーで栽培されることが決まっています。パートナーNGO である FFI と協力して、Tatay Leu 村で 2 つの生産者グループが形成され、買い手の企業（Bodia）がコミュニティに紹介されました。CI と FFI は生産する体制を整え、Bodia は技術的な支援を行い、オイルが生産されます。オイルを生産するための設備が特定され、関係者間の利益の分配についての話し合いが進められています。

アガーウッドの実験に関しては、地元の自治体、アガーウッドの所有者、住民たち、コミュニティ林のメンバーとの会合を開催し、アガーウッドや報酬、利益の分配についての理解を明確にするために話しあってきました。会合後、アガーウッドの所有者たちは Krassna Kambodi Pvt Limited との協定に署名することに同意し、村長やレンジャーたちがその証人となりました。アガーウッドの木は実験のために提供されることになっており、最初の薬の接種は 10 月 12 日から 14 日の間に 16 本の木で行われました。2 本は Tatay Leu 村に、14 本は、Thma Doun Pov 村にあります。木の所有者である 4 家族に加えて、各村（Tatay Leu 村、Russei Chrum 村、Thma Doun Pov 村）からそれぞれ 2 名ずつが経過観察をすることに興味を持っています。これは、民間企業（Krassna Kambodi Pvt Limited）から技術支援を受ける 1 年間のプロジェクトです。この薬の接種の後、木の状況を確認するフォローアップは 3 週間ごとに 3 ヶ月間行われます。最後になる次回の接種は 6 カ月後の予定です。



Bodia 社の代表がレモングラスオイルから作られた製品を紹介し、オイル抽出機を設置する予定の Tatay Leu 村内の場所を調査



アガーウッドの実験、報酬、利益の分配について話し合った会合において、Tatay Leu 村のチーフとレンジャーたちの同席のもと、協定に署名



1 年間の実験プロジェクトのため、地元の自治体、住民、アガーウッドの所有者たちと、Thmo Don Pov 村と Reuseiy Chrum 村のコミュニティ林メンバーが参加して、薬の接種

エコツーリズム：Tatay Lue 村の 3 つの地域の住民に向けて、Tatay Leu 村における CBET（コミュニティ主導型のエコツーリズム）と、委員会の体制についての説明会を開催し、86 名の住民（内女性 42 名）が参加しました。6 名の住民（内女性 5 名）が、8 名の委員会メンバーとともに、キリロム国立公園内の Chambok エコツーリズムに関するスタディーツアーに参加するために選ばれました。訪問中、Chambok エコツーリズムのチーフとそのメンバーから、エコツーリズムの管理、体制、歴史について学び、コミュニティ保護区と CBET の関係やその管理方法について学びました。その後、観光地を訪れ、ホームステイをし、料理やクメール民族の伝統的



な踊りを体験しました。そしてツアー終了後、Tatay Leu 村のエコツーリズムの改善案と改革案を提案しました。



地方自治体、村人およびコミュニティ林メンバーが Tatay Leu 村の CBET 活動とその体制についての説明会に参加



Tatay Leu 村のコミュニティ林メンバーと住民がコンポンスプー州 (Kampong Speu) のキリロム国立公園へのスタディツアーに参加

NTPF : コミュニティと企業をつなげるため、CI は、スパイス (カルダモン、黒コショウ、赤唐辛子、緑唐辛子、タマリンド、サフラン、ガランガル)、レモングラス、果物 (3 種類のバナナ、サワーソップ、ベトナム産グリーンレモン、グリーンオレンジ、ブンタン、ライム)、バナナワインを集め、試食会のためにプノンペンにあるショップへと運びました。

グリーン・ガーデン（小売り店）は、Tatay Leu 村で栽培して品質と市場状況を調べるため、パイヤとニンジンの種子の手配する手助けをしてくれました。

パートナーシップ：CI は、コミュニティの生計手段と環境教育に関する豊富な経験を持つ地元の NGO である Save Cambodia's Wildlife (SCW) と契約を締結しました。村での取り組みに SCW の協力を得ることで、私たち CI は町、郡、州、とより広い範囲に活動を展開し、より大きな活動の成果をもたらすことができるようになります。また、この地域でプロジェクトを実施した他の関係者—FFI、CEDAC（セダック：農業・農村開発 NGO）、IIRR（国際農村復興機構）、FA（森林局）—とも情報交換をしました。FFI、CEDAC、IIRR は、生計手段のためのプロジェクト（果樹、野菜、精油の生産）と市場の開発を実施しています。FA は、この地域でコミュニティ林の設立に取り組んでいます。